■ 河合塾テキスト「地理総合，地理探究（共通テスト対応）〈2026 基礎シリーズ〉」演習問題 解説 ■

【第12講】

解答番号	正解	解　説	重要度
1	③	Ａは散村，Ｂは路村の村落形態を模式的に示している。③：誤文。中世にヨーロッパの森林地域に開発された路村形態の集落を林地村とよぶが，これは計画的につくられたもので，自然発生的集落とはいえない。①：正文。アメリカ合衆国のタウンシップ制による開拓地域では，格子状区画と散村がみられる。②：正文。明治初期の北海道の開拓村である屯田兵村はタウンシップ制にならった。一部には散村もみられる。④：正文。江戸時代につくられた新田集落は，路村の背後の森林を開拓したものが多く，短冊状の耕地区画がみられるところが多い。	★
2	②	②：誤文。あぜ道が舗装され幅の広い道路に変ったのではなく，新たにこれらの道路が建設されたことがよみ取れる。①：正文。区画が広くなっていることなどがよみ取れる。③：正文。写真の右側などに新たに住宅地が建設されたことがよみ取れる。④：正文。住宅１戸あたりの敷地面積は，伝統的な家屋のほうが広い傾向がよみ取れる。	★
3	③	世界人口の８割以上が発展途上国の人口であるため，2025 年の人口が非常多い①，②が発展途上国，少ない③，④が先進国となる。①：発展途上国の都市人口。②：発展途上国の農村人口。かつて発展途上国は産業が発達しておらず農村人口が多かったが，近年，雇用機会を求めて都市への人口流入が著しい。③：先進国の都市人口。④：先進国の農村人口。先進国でも農村から都市への人口移動がみられ，農村人口は減少している。	★★★
4	③	③：**イ**。北西部から中央部にかけては，標高が高く寒冷な気候の山岳地帯であるテンシャン山脈，パミール高原，チベット高原などが，北部は乾燥地域のタクラマカン砂漠が広がるため，大都市は分布していない。逆に，南部はインドのガンジス川流域の人口密度の高い地域にあたるため，多数の大都市が分布している。①：**ア**。北部は乾燥地域のサハラ砂漠が広がるため，大都市は分布していない。また，これ以外の地域も発展途上国ばかりであるため，大都市の数は少ない。②：**エ**。ブラジルでは温帯気候が広がる国内の南部や沿岸部に大都市が分布し，図中の北西部から中央部にかけての内陸部のブラジル高原では開発が遅れたため，大都市の数は少ない。なお，図中の南東部は大西洋にあたり，大都市は存在しない。④：**ウ**。北西端付近は乾燥地域のゴビ砂漠となり大都市は少ないが，それ以外は中国東部の人口密度の高い地域にあたるため，多数の大都市が分布している。	★★
5	⑥	Ａ：**ウ**。道路幅も比較的広くロータリーを設置するなど，自動車交通を考慮した計画的な街路形態となっている。Ｂ：**イ**。外敵からの防御などの理由から迷路型の街路形態となっている。イスラム圏の都市の旧市街地に多くみられる。Ｃ：**ア**。幅の広い道路が都市周辺を囲んでいるが，これは都市を囲んでいた城壁の跡に建設されたものと考えられる。	★★
6	⑤	マ：Ｌ。市街地が郊外へ急速に拡大する時期にあたり，郊外では，農地のなかに，宅地をはじめ，商店や工場が無秩序・無計画にひろがってゆくスプロール現象がみられる。ミ：Ｊ。ドーナツ化現象が生じて，都心周辺部（インナーシティ）からはおもに中・高所得層や若年層の人口が流出すると，街が荒廃して居住環境しインナーシティ問題がみられるようになる。ム：Ｋ。近年は，荒廃した都心周辺部の市街地再生を進めるため，高層マンションや商業施設などを建設して再開発が行われているところもあり，人口の都心部への回帰現象もみられる。	★★★

7	③	パリは放射環状路型の街路をもつため，道路網からC地点が最も都心部に近いことをよみ取る。A：キ。都心部から最も離れており，第二次世界大戦後に交通網の発達などにともない開発された住宅地区にあたると考える。B：カ。交通の結節点にあたり,近代的な新都心地区にあたると考える。都市再開発によって建設された副都心的な機能をもつラ＝デファンス地区である。C：ク。都心部に近く，旧市街地区にあたると考える。古い街並みを残しながら再開発されたマレ地区である。	★
8	②	設問文にあるそれぞれの人種・民族の居住の特徴の説明文を参考にして解く。②：ヒスパニック。ロサンゼルスではヒスパニック（スペイン語圏からのアメリカ合衆国への移住者）の人口が多いため居住地は広く，低所得者が多いため都心周辺部のインナーシティを中心に分布する。①：黒人。人口が少ないため居住地は狭く，低所得者が多いためインナーシティを中心に分布する。③：白人。人口が多いため居住地は広く，高所得者が多いため郊外に戸建ての高級住宅地を形成している。④：アジア系。人口が少ないため居住地は狭いが，所得水準の向上でインナーシティと郊外の両方に分布する。	★★
9	④	先進国の大都市内部（インナーシティ）の衰退した地区において，再開発により経済的に豊かな人々が流入し，地区の再生が進み街が高級化する現象を，ジェントリフィケーションという。④：正しい。2000 年の居住者の貧困率が高いため，かつては衰退していた地区であった。大学を卒業している居住者，賃料ともに 2000 ～ 2015 年に大きく増加していることから，近年，街の再生が進み高級化した地区といえる。①：誤り。市役所のある都心から距離がありインナーシティの位置からやや外れる。また，2000 年の居住者の貧困率が低いため，衰退していた地区とはいえない。②：誤り。2000 ～ 2015 年の賃料が減少しているため，街が高級化した地区とはいえない。③：誤り。2000 ～ 2015 年の大学を卒業している居住者が減少しているため，街が高級化した地区とはいえない。	★★★
10	②	A：カ。「大都市圏の中心」，「中心業務地区がある」などから，業務機能などが集積する大都市圏の中心都市である。職場となる商工業が集積しているため昼夜間人口比率は高く，「住宅や工場が密集して混在する地区もみられる」とあるように，開発の古い市街地も含まれることから，老年人口割合は比較的高い。B：ク。「都心部への通勤・通学圏」，「ニュータウン」などから，中心都市（A）の郊外に位置する衛星都市である。住宅機能が大きい（ベッドタウン）ため昼夜間人口比率は低く，開発が比較的新しい市街地が多いと考えられ，老年人口割合は低い。C：キ。「大都市圏の外縁部」，「中心地として古くから市街地が発達」などから，大都市圏からやや離れた県庁所在地などの地方都市を想定する。職場となる商工業がある程度立地しているため昼夜間人口比率は比較的高い。「古くから市街地が発達」より市街地の開発が古く，また「農地が広がる郊外には集落が点在」より農村部が含まれることから，老年人割合は高い。	★★